# 令和5年度(2023年度) 学習の手引き(シラバス)

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	電気回路	単位数	3	学年	2	科	電子機械科
2001				1 1-2//	_	- '	_	, ,	

#### 1. 科目の目標

電気に関する技術の基礎となる法則や理論を理解する。併せて電気の現象を量的に取り扱うことに慣れ、実際に活用できるよう基礎的な能力と態度を身に着けることを目標とする。

### 2. 使用教科書・副教材

「電気回路1」 オーム社

#### 3. 学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	4月 5月 6月	1章 電気回路の要素 ・電流と電圧 ・電気抵抗 2章 静電現象と静電容量 ・静電気の性質	中間考査	3 0
	7.0	・静電容量とコンデンサ	期末考査	
	7月	・静電容量とコンデンサ・		
二学期	8月 9月	<ul><li>・絶縁破壊と放電現象</li><li>第3章 インダクタンスと磁気現象</li><li>・磁界と磁束</li></ul>	-L-BB- <del>1</del> 49-1-4	
	10月	・電流のつくる磁界 ・磁性体と磁気回路	中間考査	42
	11月	・電磁力 ・電磁誘導作用	期末考査	
	12月	・自己誘導と自己インダクタンス		
三学	1月	<ul><li>・相互誘導と相互インダクタンス</li><li>・インダクタンスの合成とコイルに蓄えられるエネルギー</li><li>第4章 直流回路</li></ul>		3 3
ガ期	2月	・直流回路と計算 ・電流の働き	学年末考査	
	3月	・電気の各種作用		

## 4. 評価の方法

	11 m · > / 10				
	学習の成果	定期考査の得点を評価する。			
学		課題プリント提出と添削指導による学習活動を評価する。			
習		ノートおよび学習ファイルを提出し、その内容を評価する。			
評価	観点別評価	観点(1):知識・技能を評価する。	観点別評価の内容は、別紙「記 価の観点の趣旨   D8による		
		観点(2): 思考・判断・表現を評価する。			
		観点(3):主体的に学習に取り組む態度を評価する。			

#### 5. 学習にあたっての注意とアドバイス

電気は現代社会に必要不可欠で、今後ますます発展していく分野です。その基礎を学び理解することは、皆さんの将来にとって大きなアドバンテージとなります。授業を休まず真摯に積極的に取り組んでください。